＜様式５－２＞

研究報告書

【受入研究者用】

令和　　年　　月　　日

独立行政法人日本学術振興会理事長　殿

フリガナ

受入研究者名

下記のとおり、特別研究員の研究報告書を提出します。

記

特別研究員　年度受付番号：　　　　　　　　　　　登録名：

１．当該年度における研究への取組、研究成果について、該当するものを選択してください。（中断期間がある場合は、その期間を除いて評価してください。）

【研究への取組】

(1) 主体的に研究に取り組んでいた

(2) 主体的な研究への取組が十分ではなかった

(3) その他（具体的な状況：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【研究成果】

(1) 査読付論文や国際学会発表など、特筆すべき優れた成果が出た

(2) 論文や学会発表など、成果が出た

(3) 論文投稿に向けて着実に準備を進めた

(4) 論文投稿の準備段階にも至っていない

(5) その他（具体的な状況：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．当該年度における研究への取組、研究成果を踏まえ、以下の評価を行ってください。（中断期間がある場合は、その期間を除いて評価してください。）

(1) 研究計画を大いに上回る研究の進展があり、今後の進展も期待できる

(2) 研究計画を上回る研究の進展があり、今後の進展も期待できる

(3) 期待通り研究が進展し、今後の進展も期待できる

(4) ある程度の進展はあったが、期待したほどではなかった

(5) 研究活動を行っていたが進展がなかった

３．上記評価とした理由を具体的に記載してください。知的財産権等の関係上研究発表できない、研究内容や分野の特性により成果の発表まで時間がかかるといった事情がある場合は、併せて記載してください。

|  |
| --- |
|  |

（注）

①　特別研究員が作成する「研究報告書【特別研究員用】<様式5-1>を確認のうえ、当該年度における研究への取組等の評価を行ってください。